

平成23年度 福祉一行詩コンクール入賞作品

「福祉」をテーマにした一行詩の募集に、たくさんの応募をいただきありがとうございました。
応募総数1,555点の中から入賞した作品を紹介します。



「ありがとう」は魔法の言葉。
こちらこそ「ありがとう」
あらかわ ひかる
荒川 光 (昭和小学校 6年)



町の段差も 心の段差も
両方平らにバリアフリー
かめがい あずみ
亀谷 亜澄 (南ヶ丘中学校 2年)

小学校の部 入選

できないことはいつでも言ってね！
私でよければいつでもとんでいくよ
だって元気になってほしいもん！
なかすじ ゆな
中筋 友菜 (養正小学校 5年)

こまっている人、悲しんでいる人に
そっと声をかけてあげよう。心が元気になるように
やなぎだ ゆうき
柳田 侑紀 (池田小学校 5年)

どんなにつらいことがあっても、
まわりをみれば、ほらもう ひとりじゃない！
こいけ まこ
小池 まこ (養正小学校 6年)

ありがとう、ごめんなさい。
わたしをうれしくしてくれるまほうの言葉。
あなたも持ってる。まほうの言葉。
おがさわら な の
小笠原 菜乃 (根本小学校 5年)

小学校の部 佳作

ありがとう、こんにちは。
たったの五文字だけどみんなが笑顔になれるんだよ
かわち まき
河地 真希 (昭和小学校 6年)

「おはようございます。」
その言葉 いつかは咲く、地域の花。
もりおか たいせい
森岡 大晟 (滝呂小学校 6年)

みんな一人ではいきていけないんだよ
人のささえがあるから生きていけるんだよ。
一人で生きると考えないで
すぎやま に な
杉山 仁菜 (養正小学校 6年)

つらい時 「空を見上げて。」
つながってるよ 一人じゃないよ大丈夫
たけい みい
武井 海衣 (市之倉小学校 4年)

この先も、いっしょにあるこ！ 上向いて。
おくむら すずか
奥村 鈴花 (北栄小学校 6年)

みんなつながっているんだよ。
だからこまったことがあったら
いつも助けあうことが大切なんだよ。
あらたけ ま や
荒武 茉耶 (共栄小学校 4年)

中学校の部 入選

「頑張ろう」の声かけで 人々はきっと 立ちあがる
「ありがとう」の一声で だれでも絶対 「笑顔」になる
もりかわ しほ
森川 詩歩 (南ヶ丘中学校 1年)

ボランティア たった一言 ありがとう
それだけでとっても うれしいな
こたべ るか
小田部 瑠香 (小泉中学校 1年)

「おかえり」と地域の人がむかえてくれて うれしいな。
むらい まこ
村井 まこ (北陵中学校 1年)

ボランティアで 私の幸せ おすそ分け
おおたけ ゆか
大嶽 有加 (多治見中学校 1年)

中学校の部 佳作

わたしがまた ひとつぶの優しさの種。
これがいつか、誰かの希望のひかりになることを願って。
いしぢ ひかる
石地 ひかる (南ヶ丘中学校 1年)

福祉という名の種をまき、
思いやりという名の水をまけば、
幸せという名の花が咲く
かとう かずき
加藤 麗樹 (南ヶ丘中学校 2年)

「おはよう」って言ってみて
「ありがとう」って言ってみて
それだけで 何かが変わって見えるから
さかざき あやか
坂崎 文香 (北陵中学校 1年)

支え合って1つになる。助け合って1つになる。
それが幸せの素となるんだよ。
みやた かずき
宮田 和輝 (南ヶ丘中学校 2年)

温かい絆でつないでこう！ 友達、家族、近所の輪。
やまだ みらの
山田 みらの (小泉中学校 1年)

「笑顔」でお手伝い 「笑顔」でありがとう
笑顔と笑顔の返し合いは 幸せの第一歩！
みずの あやせ
水野 綾瀬 (多治見中学校 1年)

高校・一般の部 入選

互いに苦しかった高齢介護
妻は満足して逝っただろうか 反省しきりの毎日
すぎやま ひとし
杉山 仁 (一般)

高校・一般の部 佳作

迷惑をかけない人なんていない！
我慢しないで…。甘えていいんだよ。
やまだ みどり
山田 緑 (一般)